

書誌第103号追

瀬戸内海水路誌

追補第6

令和8年（2026）1月30日発行



海上保安庁

瀬戸内海水路誌

追補第6

この追補は、令和5年3月刊行の瀬戸内海水路誌の記載事項を更新するもので、令和7年9月26日までに入手した資料を基に編集したものです。

追補は、更新情報を記載した「本文」と、それを検索するため、ページ番号等を記載した「索引」から構成されています。

「索引」については、更新箇所の表題や港名等を記載し、ページ番号順に並べています。

「本文」については、本追補の更新箇所は、灰色背景で赤色文字にて示しています。

【】で囲んだ内容は、削除や差し替えを行うことを意味しています。

図の挿入等によりページ内に収まらない場合は、水路誌本誌とのページ番号を整合させるため、追補においては、便宜的に枝番号を付しています。

令和8年1月30日

海上保安庁海洋情報部

注 意

海上保安庁は、各国が発布した諸法規、宣言、海図及び水路通報・航行警報並びに船舶等からの視認報告のうち、船舶交通の安全の確保と海洋環境の保全という観点から、航海の安全及び環境保全に影響を与える可能性のある情報については、水路通報及び航行警報により周知するほか、海上保安庁の海図その他の航海用刊行物にも掲載するようにしています。

これらの情報を利用するにあたっては、海上保安庁によるこれらの情報提供は、航海の安全等のための利用を目的としており、その内容は日本政府がこれらの諸法規、宣言等を承認したことを意味するものではない点に留意してください。

ページ	更新箇所（表題、港名等）	備考
	「追補履歴記入表」	
5	気象情報	
31	ウェブサイトによる情報提供	
47	大阪湾	
77	備讃瀬戸	
92	阿伏兎瀬戸～戸崎瀬戸	
96	尾道水道	
113	来島海峡	
208	阪神港神戸区	
217	東播磨港	
226	片上港	
230	宇野港	
234	水島港	
235	水島港水島地区	
237	水島港水島地区	
238	水島港玉島地区	
240	福山港	
242	詫間港	
243	詫間港・多度津港	
244	多度津港・丸亀港	
246	坂出港	
259	竹原港	
273	木ノ江港	
280	広島港	追補第3の当該ページは無効
283	岩国港	
284	岩国港	
292-1	徳山下松港	追補第3の当該ページは無効
293	徳山下松港	
300	苅田港	
300-1	苅田港	
313	松山港	追補第3の当該ページは無効
314	松山港	追補第5の当該ページは無効
341	宇和島港	
343	八幡浜港	

追補履歴記入表

* 本誌は、刊行の約7、8年後に改版予定

追補は、以下のウェブサイトをご覧下さい。

URL <https://www1.kaiho.mlit.go.jp/TUHO/shoshi/tsuiho/supplement.html>

その他 上記のほか、大阪湾、備讃瀬戸、来島海峡及び関門海峡の各海上交通センター並びに大阪及び牧山（若松）の各船舶通航信号所では、VHF 無線電話（呼出・応答 ch16／通信 ch14、ch66）による呼出しに応じるかたちで航路及びその周辺における気象情報を提供している。

気象官署 ~~この水路誌の記載区域に關係のある気象台及び天氣相談所は、次のとおりである。~~

天氣相談所 本書の記載区域に關係のある気象庁の天氣相談所は、次のとおりである。

【表の差替え】

名 称	電 話 番 号	備 考	
大阪管区気象台天氣相談所	06-6949-1300	近畿地方、中国地方及び四国地方の気象情報	自動音声案内
福岡管区気象台天氣相談所	092-401-0950	九州北部地方、九州南部地方及び奄美地方の気象情報	

第3章 海象

潮汐

概要 瀬戸内海及び豊後水道の潮汐は、外海の潮汐が潮浪となって友ヶ島水道及び豊後水道を通り瀬戸内海へ入ることにより起きる。

- 1 友ヶ島水道の潮浪は、大阪湾に入り明石海峡を通過して備讃瀬戸に至る。
- 2 豊後水道の潮浪は、周防灘に入り更に西進して関門海峡に至るものと伊予灘を東進して備讃瀬戸に至り、友ヶ島水道からの潮浪と相会するものとに分かれている。
- 3 伊予灘を東進する潮浪の一部は、大畠瀬戸、諸島水道などを経て広島湾に至る。

潮差 低潮(ていちょう)と高潮 (こうちょう)との海面の高さの差を潮差 (ちょうさ)という。大潮期の潮差の平均を大潮差 (だいちょうさ)といい、主要な箇所の大潮差は次のとおりである。

地 名	和歌山	小松島	大 阪	神 戸	姫 路	宇 野	高 松	水 島	福 山
大潮差	1.3m	1.2m	0.9m	0.9m	0.8m	1.8m	1.8m	2.8m	3.1m
地 名	尾 道	新居浜	広 島	呉	松 山	大 分	苅 田	徳 山	宇 部
大潮差	3.0m	3.0m	2.9m	2.9m	2.8m	1.7m	3.0m	2.5m	3.0m
地 名	門 司	八 幡	宇和島						
大潮差	2.0m	1.1m	1.6m						

水路通報

水路通報 水路図誌を最新のものに維持するための情報並びに船舶交通の安全に必要な航路標識の変更、海上における工事・作業、自衛隊あるいは米軍等が実施する射爆撃訓練等に関する情報をウェブサイト及び印刷物により、日本語及び英語で週1回発行している。

管区水路通報 管区海上保安本部の担任水域及びその付近の地域に密着した船舶交通の安全に必要な情報をウェブサイト及び電子メールにより、原則として毎週1回及び隨時に提供している（日本語、必要に応じて英語を併記）。

水路通報 URL <https://www1.kaiho.mlit.go.jp/TUHO/tuho/nm.html>

ウェブサイトによる情報提供

1 灯台表第1巻追加表及び水路誌追補は、ウェブサイトで提供している。

灯台表第1巻追加表 URL https://www1.kaiho.mlit.go.jp/TUHO/shoshi/toudai/j_toudai.html

水路誌追補 URL <https://www1.kaiho.mlit.go.jp/TUHO/shoshi/tsuiho/supplement.html>

2 各管区海上保安本部及び部署では、航海の安全に関する情報等をウェブサイトで提供している。

なお、各管区海上保安本部管下の部署は、各管区海上保安本部にリンクされている。

第五管区海上保安本部 URL <https://www.kaiho.mlit.go.jp/05kanku/>

第五管区海上保安本部海洋情報部 URL <https://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN5/>

第六管区海上保安本部 URL <https://www.kaiho.mlit.go.jp/06kanku/>

第六管区海上保安本部海洋情報部 URL <https://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN6/>

第七管区海上保安本部 URL <https://www.kaiho.mlit.go.jp/07kanku/>

第七管区海上保安本部海洋情報部 URL <https://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN7/top.htm>

3 海上保安庁では、海洋関係機関が収集・保有している海洋情報を集約し、衛星情報や海上気象の情報などを地図上で重ね合わせて表示できる情報サービス「海洋状況表示システム（愛称：海しる）」を運用している。

「海しる」 URL <https://www.msil.go.jp/>

海の安全情報

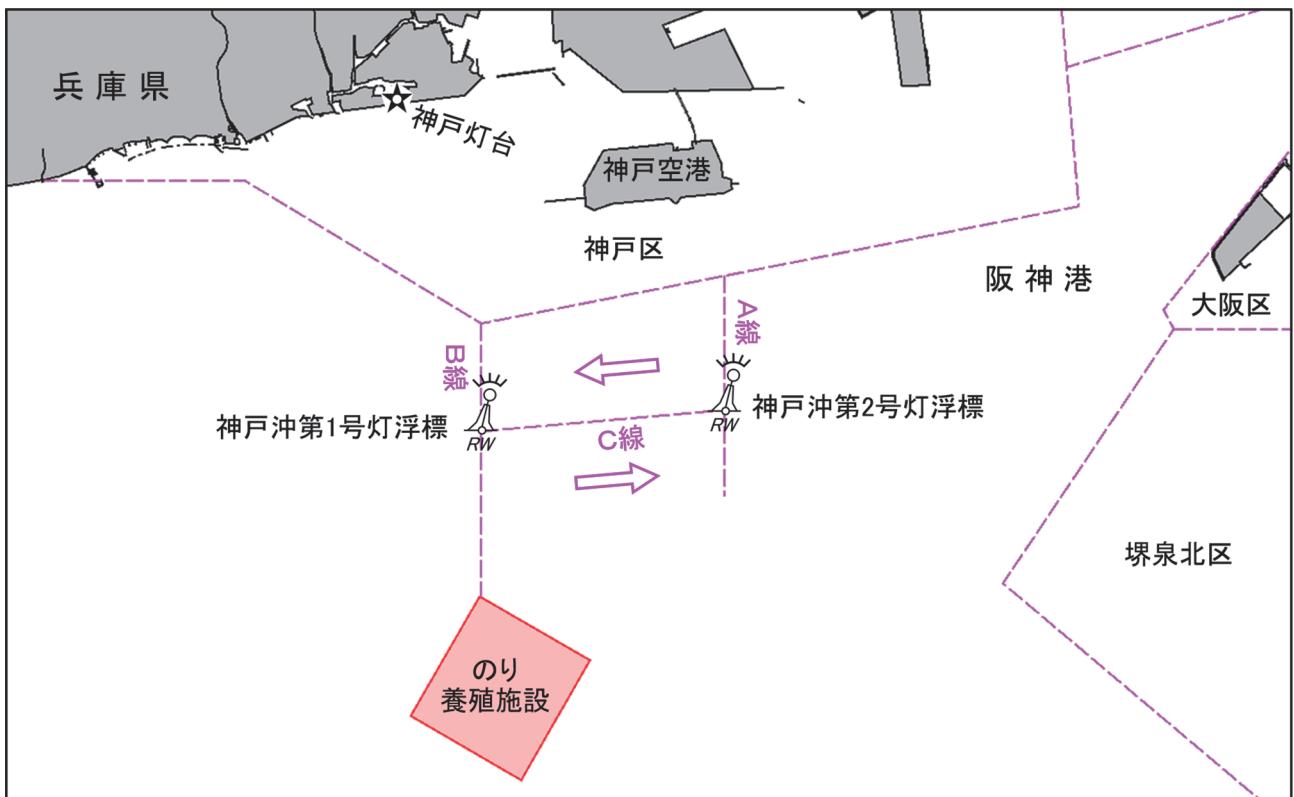
海上保安庁では、プレジャーボートや漁船等の操縦者、海水浴や釣り等のマリンレジャー愛好者に対して、全国各地の灯台等で観測した気象・海象の状況、気象庁が発表する気象警報・注意報、ミサイル発射や避難勧告等に関する緊急情報、海上工事や海上行事等の状況に関する海上安全情報、海上模様が把握できるライブカメラ映像等を「海の安全情報」として、ウェブサイト、電子メール等で提供している。

「海の安全情報」 URL <https://www6.kaiho.mlit.go.jp/>

2 B線を横切った後、A線を横切って航行しようとする総トン数 500 t 以上の船舶は、C線の南側の海域を航行すること。

(備考) A地点を示す目安として神戸沖第2号灯浮標 ($34^{\circ} 35.7' N$ $135^{\circ} 14.3' E$) が、B地点を示す目安として神戸沖第1号灯浮標 ($34^{\circ} 35.4' N$ $135^{\circ} 11.2' E$) がそれぞれ設置されている。

第11図 大阪湾北部海域における経路図



航行上の注意

1 関西国際空港の北東側及び南西側、また、神戸空港 ($34^{\circ} 38.2' N$ $135^{\circ} 13.5' E$) の東側及び西側海域には、航空法に基づいて進入表面区域が設定されているので、船舶はマスト等の安全な高さに注意すること。

2 神戸中央航路利用に際しては、**神戸港入港マニュアルの周辺海域安全情報図を参照すること。**

神戸港入港マニュアル

URL <https://www.city.kobe.lg.jp/a91618/business/kowanjigyo/nyuukoumanual.html>

漁業（第1編 総記、第7章 航行に関する諸注意、漁業の項及び第10図参照）

- 1 機船船びき網漁業及びサワラ流し網漁業の好漁場なので注意を要する。特に明石海峡及び周辺海域では、2~4月頃にかけて機船船びき網漁船によるいかなど漁業が盛んとなり、日出～正午にかけて多数の漁船が出漁している。
- 2 明石海峡東口付近及び大阪湾南部では、季節を問わず早朝～正午にかけて漁船が多数操業している。
- 3 阪神港大阪区沖～関西国際空港間では、5～7月頃、多数のしらす漁船と底びき網漁船が阪神港泉北区寄りに操業している。

8 備讃瀬戸海上交通センターとの連絡保持

(1) VHF 無線電話 (ch16) を備える船舶は、備讃瀬戸海上交通センター（びさんマーチス）から航行の安全に関する情報等が提供される場合があるため、航路及び航路に至る主要通航路並びにその周辺海域において、ch16 を聴取し、同センターとの連絡を保持すること。

また、ch16 が輻輳している際には、同センターより ch13 にて呼び出しを行う場合があるため、ch13 を備えている船舶は ch16 の聴守に併せて、ch13 を聴守すること。

(2) ラジオ放送

次の放送局により巨大船の航路航行予定を放送している。

放送局	周波数	放送時刻
NHK 岡山放送局第1放送	603kHz	毎日 1850～1900
NHK 高松放送局第1放送	1,368kHz	毎日 1755～1800
NHK 広島放送局第1放送	1,071kHz	平日 1755～1800

(32) 霧通報

備讃瀬戸の視界が 2,000m 以下になった場合、次の機関により隨時放送している。

機 関	VHF チャンネル番号又は周波数	使用語
第六管区海上保安本部 (識別信号 ひろしまほあん)	呼出 ch16 通報 ch12	日本語及び英語
NHK 岡山放送局第1放送	603kHz	日本語
NHK 高松放送局第1放送	1,368kHz (高松)、1,584kHz (観音寺)	
NHK 広島放送局第1放送	1,071kHz	
NHK 松山放送局第1放送	963kHz	
NHK 山口放送局第1放送	675kHz	
中国放送広島放送局	1,350kHz	
中国放送福山放送局	1,530kHz	

9 海図の備付け

備讃瀬戸海域（備讃瀬戸東航路、宇高東航路、同西航路、備讃瀬戸北航路、同南航路及び水島航路）を航行する船舶は、少なくとも次の海図（航行予定海域が記載されているもの）を備え、最新の港湾事情を事前に把握しておくこと。

海図番号	図 名	海図番号	図 名	海図番号	図 名
W137 ^A	備讃瀬戸東部	W137 ^B	備讃瀬戸西部	W153	備讃瀬戸及備後灘
W154	宇野港及付近	W1116	水島港及付近	W1121	坂出港
W1122	備讃瀬戸中央部	W1127 ^A	水島港東部		

10 外国船の航行

外国船が瀬戸内海を航行するときは、特に次の事項を遵守、把握して航行すること。

- (1) 適切な見張りの励行及び船位確認の励行、VHF 無線電話聴守の励行等基本的事項
- (2) 瀬戸内海における気象、海象の特性等航行上の留意事項
- (3) 備讃瀬戸周辺海域における「こませ網漁船」及び航路周辺海域における「サワラ・マナガツオ流し網漁船」の操業（第1編 総記、第7章 航行に関する諸注意、漁業の項参照）

福山港～三原瀬戸（海図W1118）

目標

地物名	概位	備考
走島	34° 20.6' N 133° 26.4' E	南北2頂があり、南頂は高さ180m
横島	34° 20.7' N 133° 16.6' E	高さ258m（大城山）、南西端にドルフィン桟橋跡がある。
高見山	34° 22.1' N 133° 12.4' E	向《ムカイ》島南東部にあり、高さ283m、北東側に顕著なテレビ塔群があり、赤灯を点する。

漁業 走島西方、福山港～阿伏兎瀬戸南口間、田島（34° 21.5' N 133° 19.0' E）、横島、百貫島（34° 18.0' N 133° 16.5' E）周辺及び弓削島（34° 16' N 133° 13' E）東岸には定置網及びのり養殖施設が多く距岸約3Mに及ぶものがある。

阿伏兎瀬戸～戸崎瀬戸（海図W1118）

概要 阿伏兎瀬戸は、田島（34° 21.5' N 133° 19.0' E）北東端と本州（福山市）の間の幅約400mの瀬戸で、瀬戸の北口は西方へ大きく湾曲し、潮流が強い。冬季の季節風の強い時や荒天時には、田島沖を航行中の小型船は風波を避けるためこの瀬戸に入り仮泊する。

目標

地物名	概位	備考
阿伏兎觀音	34° 21.9' N 133° 20.8' E	朱塗、北東側中腹にある灯台は顕著

架橋 田島北端～対岸間に内海大橋（34° 22.5' N 133° 19.3' E、高さ30m、アーチ橋）がある。

注意 戸崎瀬戸を横断するフェリー及び渡船がある。

燧灘（海図W1105、W1128）

概要 燐灘南部の三島川之江港～壬生川港間は臨海工業地帯である。この沿岸は干出泥や砂堆が距岸約1Mまで伸びている所もあり、10m等深線は距岸0.5～3Mの所を通る。

気象 沿岸では、春から秋にかけてフェーン現象による南寄りの強風が吹くことがある。地元では「やまじ」と呼ばれている。「やまじ」の吹く範囲は沖合数km程度であり、それより沖は北東の反対風が吹いているという。

目標

地物名	概位	備考
4煙突	33° 59.9' N 133° 33.2' E	三島川之江港、高さ213m（白塗角形）、187m（赤白塗）、186m（青白塗集合型）及び186m（白塗）
4煙突	33° 58.1' N 133° 15.7' E	新居浜港新居浜区、高さ134m、125m、123m及び105m、各赤白塗
2煙突	33° 56.0' N 133° 10.3' E	西条港、高さ約200m（灰塗）及び約100m（赤白塗）
煙突	33° 56.0' N 133° 06.9' E	壬生川港、高さ約183m、灰塗

錨地 三崎（34° 15.8' N 133° 33.5' E）付近を除けば、距岸1M前後の地点は、水深、底質とも良好で、潮流も微弱であり、至る所に錨地が得られる。

漁業 沿岸には定置網やのり養殖施設が多く、距岸約2Mに及ぶものがある。

尾道水道 (海図W119)

尾道水道西口



(2021年7月撮影)

概要 本州と向《ムカイ》島 ($34^{\circ} 23' N$ $133^{\circ} 12' E$) 及び岩子島 ($34^{\circ} 22.9' N$ $133^{\circ} 09.8' E$)との間にある狭水道で、東口は戸崎瀬戸 ($34^{\circ} 23.9' N$ $133^{\circ} 14.5' E$) に、西口は三原瀬戸に通じている。水道全体が尾道糸崎港の港域に当たり、水道の中央は航路に指定されている。航路は、東口の最狭部では幅約50m、水深約4mのところもある。西口は比較的深く約9mの水深がある。

潮流 尾道水道では東流（西流）は尾道の低潮（高潮）約40分後から高潮（低潮）約40分後まで流れ、東流（西流）は高潮（低潮）約2時間25分前に最強となる。最強流速は東流が2.7kn、西流が2.5knである。転流は来島海峡より約15分遅れる。

架橋 水道東部 ($34^{\circ} 24.6' N$ $133^{\circ} 13.0' E$) に水道を横断する並行した尾道大橋（高さ34m、斜張橋）及び新尾道大橋（高さ36m、斜張橋）並びに御幸瀬戸 ($34^{\circ} 23.0' N$ $133^{\circ} 10.3' E$) 南口に向島大橋（高さ約13m）がある。

架空線 水道西部 ($34^{\circ} 23.6' N$ $133^{\circ} 09.7' E$) に水道を横断する架空線（高さ51m）及び御幸瀬戸南口に架空線（高さ28m）がある。

注意 頻繁に水道を横断する渡船（**2**航路）がある。

弓削瀬戸・長崎瀬戸付近 (海図W102)

概要 弓削瀬戸は弓削島 ($34^{\circ} 16' N$ $133^{\circ} 13' E$) と因《インノ》島 ($34^{\circ} 19' N$ $133^{\circ} 10' E$) との間、長崎瀬戸は因島と生名《イキナ》島 ($34^{\circ} 16.2' N$ $133^{\circ} 10.7' E$) との間にある。これらの瀬戸を通って、因島南部の土生港にある造船所に大型船が入出港する。それ以外の通航船舶は小型船と漁船が多い。

潮流 長崎瀬戸では南東流（北西流）は尾道の低潮（高潮）約30分後から高潮（低潮）約30分後まで

来島海峡西口南	WS ライン	来島梶取鼻灯台 (34° 07.1' N 132° 53.6' E) から 272° 90mの地点から 272° に陸岸まで引いた線
---------	--------	--

8 来島海峡海上交通センターとの連絡保持

(1) VHF 無線電話 (ch16) を備える船舶は、来島海峡海上交通センター（くるしまマーチス）から航行の安全に関する情報等が提供される場合があるため、航路及び航路に至る主要通航路並びにその周辺海域において、ch16 を聴取し、同センターとの連絡を保持すること。

また、ch16 が輻輳している際には、同センターより ch13 にて呼び出しを行う場合があるため、ch13 を備えている船舶は ch16 の聴守に併せて、ch13 を聴守すること。

(2) ラジオ放送

~~次の放送局により巨大船の航路航行予定を放送している。~~

放送局	周波数	備考
NHK 広島放送局第1放送	1,071kHz	平日 1755～1800

(3) 霧通報

来島海峡の視程が 2,000m以下になった場合、次の機関により隨時放送している。

機 関	VHF チャンネル番号又は周波数	使用語
第六管区海上保安本部 (識別信号 ひろしまほあん)	呼出 ch16 通報 ch12	日本語及び英語
NHK 岡山放送局第1放送	603kHz	日本語
NHK 高松放送局第1放送	1,368kHz (高松)、1,584kHz (観音寺)	
NHK 広島放送局第1放送	1,071kHz	
NHK 松山放送局第1放送	963kHz	
NHK 山口放送局第1放送	675kHz	
中国放送広島放送局	1,350kHz	
中国放送福山放送局	1,530kHz	

9 海図の備付け

来島海峡を航行する船舶は、少なくとも次の海図（航行予定海域が記載されているもの）を備え、最新の港湾事情を事前に把握しておくこと。

海図番号	図名	海図番号	図名	海図番号	図名
W104	来島海峡及付近	W132	来島海峡	W141	安芸灘及付近
W1108	安芸灘及広島湾				

10 外国船の航行

外国船が瀬戸内海を航行するときは、特に次の事項を遵守、把握して航行すること。

- (1) 適切な見張りの励行及び船位確認の励行、VHF 無線電話聴取の励行等基本的事項
- (2) 瀬戸内海における気象、海象の特性等航行上の留意事項
- (3) 来島海峡航路の航法（順中逆西）（第 27 図参照）
- (4) 備讃瀬戸周辺海域における「こませ網漁船」及び航路周辺海域における「サワラ・マナガツオ流し網漁船」の操業（第 1 編 総記、第 7 章 航行に関する諸注意、漁業の項参照）

航行管制信号はVHFで「こうべほあん」もしくは「こうべポートラジオ」に確認する事ができる。また、船舶電話で直接大阪湾海上交通センターに確認する事ができる。大阪湾海上交通センター（TEL 078-302-7615）

神戸船舶通航信号所（おおさかマーチス） 神戸西航路、神戸中央航路及び新港航路並びにその付近水域における、航行船舶に影響を及ぼすおそれのある海難等の内容及びそれに対する措置の状況、その他船舶の航行の安全上必要な事項の通報を行っている。また、神戸中央航路における管制の予告等についての情報提供も行っている（書誌第411号、「灯台表第1巻」船舶通航信号所の項参照）。

事前通報 総トン数40,000t（油送船は1,000t）以上の船舶は神戸中央航路への入航予定時刻及び出航の際は運航開始の予定時刻を前日の正午までに港長（通報先は大阪湾海上交通センター）に通報しなければならない。

予定時刻を通報した船舶は、当該予定時刻に変更があった場合は、直ちに、その旨を港長に通報しなければならない。（港則法施行規則第33条第5項及び第6項参照）

通信 船舶と港長及び港湾管理者との間でVHF無線電話による港務通信ができる（第1編総記、第8章海難防止、港務通信の項参照）。

1 港長との港務連絡

識別信号	呼出応答	通信	運用時間	連絡先	連絡の方法
こうべほあん	ch16	ch12	常 時	神戸海上保安部：阪神港神戸西航路、神戸中央航路、新港航路及び神戸区に関すること。	「こうべほあん」を呼び出し、神戸海上保安部への接続を依頼する。

2 港湾管理者との港務連絡

識別信号	呼出応答	通信	運用時間	備 考
こうべポートラジオ	ch16	ch11、ch12	常 時	TEL 078-303-1711

航泊禁止 第7防波堤南方の第6区に航泊禁止区域がある。

錨地 底質泥で錨かきは良い。検疫錨地は第4区にあり、危険物積載船の錨地は第4区～第6区内に指定されている。

入港上の注意

- 1 定期旅客船及びカーフェリーの出入が極めて多く、第1区の中突堤及び新港突堤（第1～第4）から発着する定期旅客船及びカーフェリーは神戸西航路を、第2区の新港第4突堤から発着する不定期の大型旅客船は、神戸中央航路を、第3区の六甲アイランド北東方のフェリーふ頭から発着するカーフェリーは、六甲アイランド東側の水路を航行して出入している。
- 2 各防波堤灯台と水路を表示している灯浮標の灯火は、夜間、背後の市街地及び工場などの背景光に紛れて見えにくい。
- 3 神戸西航路から、中突堤に至る海域は各造船所の係船岸壁に係留中の大型船の陰から、小型船が急に現れることがある。
- 4 第5区泊地内には、コンテナ船や貨物船などが多く停泊している。
- 5 神戸空港東側及び西側には、航空法に基づく航空機進入表面区域が設定されている。（海図W101A参考）（詳細については神戸市港湾局空港調整課 TEL 078-595-6272に問合せること。）
- 6 神戸中央航路利用に際しては、**神戸港入港マニュアルの周辺海域安全情報図を参照すること。**

神戸港入港マニュアル

URL <https://www.city.kobe.lg.jp/a91618/business/kowanjigyo/nyuukoumanual.html>

の航路があり、灯標及び灯浮標により表示されている。

航泊制限 港内を航行中的一般船舶は引火による船舶の事故を防止するため、一般船舶の港内停泊中の引火性危険物積載タンカーから30m以内の海域への立ち入りが港長により禁止されている。

錨地

- 1 大型船の錨地は、別府沖の法定航路の東播磨航路第1号灯標 ($34^{\circ} 40.6' N$ $134^{\circ} 48.2' E$) ~ 同第3号灯浮標 ($34^{\circ} 41.0' N$ $134^{\circ} 48.9' E$) の西方海域。
- 2 小型船の錨地は、高砂～伊保間沖の港界付近。
- 3 危険物積載船の指定錨地は、加古川河口の南西方、高砂沖付近。

入港上の注意 高砂地区加古川河口西側の船だまり入口は狭く、加古川河口付近は水深が浅いため、東播磨港高砂西防波堤灯台 ($34^{\circ} 43.8' N$ $134^{\circ} 47.8' E$) の南方約0.3Mの東播磨港高砂灯浮標 ($34^{\circ} 43.5' N$ $134^{\circ} 47.8' E$) を右に見て入口を確認してから入港する。

また、南～西方の強風のとき、または東方へ流れる沿岸流があるときは、加古川河口の浅水域に圧流されることがある。

港湾施設

二見・別府地区

名 称	概 位	長さ (m)	水深 (約m)	係船能力 (D/W×隻)	備 考
二見公共ふ頭-4m岸壁	$34^{\circ} 42.1' N$ $134^{\circ} 52.1' E$	260	4	500t級	
二見公共ふ頭-5.5m岸壁	$34^{\circ} 42.2' N$ $134^{\circ} 52.0' E$	360	5.5	2,000×4	
二見公共ふ頭-7.5m岸壁	$34^{\circ} 42.1' N$ $134^{\circ} 51.8' E$	130	7.5	5,000×1	
新島公共ふ頭-10m岸壁	$34^{\circ} 42.5' N$ $134^{\circ} 51.2' E$	185	10	15,000×1	前面に険悪地がある。
新島公共ふ頭-12m岸壁	$34^{\circ} 42.6' N$ $134^{\circ} 51.0' E$	480	12	30,000×2	
新島公共ふ頭-7.5m岸壁	$34^{\circ} 42.7' N$ $134^{\circ} 51.0' E$	520	7.5~8	5,000×4	
新島公共ふ頭-5.5m岸壁	$34^{\circ} 42.6' N$ $134^{\circ} 51.3' E$	450	4.5~6	2,000×5	前面に険悪地がある。
新島物揚場	$34^{\circ} 42.6' N$ $134^{\circ} 51.5' E$	170	3	500t級	
別府公共ふ頭	$34^{\circ} 43.2' N$ $134^{\circ} 50.7' E$	274	2~3	500t級	

高砂・伊保地区

名 称	概 位	長さ (m)	水深 (約m)	係船能力 (D/W×隻)	備 考
高砂公共ふ頭	$34^{\circ} 44.0' N$ $134^{\circ} 48.0' E$	90	4以下	2,000×1	
高砂西公共ふ頭	$34^{\circ} 44.7' N$ $134^{\circ} 47.4' E$	270	5	2,000×3	
伊保公共ふ頭	$34^{\circ} 45.9' N$ $134^{\circ} 47.0' E$	85	3	2,000×1	
曾根公共ふ頭	$34^{\circ} 45.5' N$ $134^{\circ} 45.8' E$	180	5~5.5	2,000×2	

※上表のほか、会社専用の係船施設がある。

架空線 伊保地区の法華山谷《ホッケサンダニ》川河口付近に架空線 ($34^{\circ} 45.2' N$ $134^{\circ} 46.1' E$ 、高さ58m) がある。

台風・津波対策 台風・津波等による海難事故を防止するため、東播磨港台風・津波対策部会が設置されており、在港船舶などに対し、情報の伝達及び警戒体制・避難・入港制限の勧告・解除等の災害防止措置

海事関係官公署

名 称	電 話 番 号
神戸税関水島税關支署片上出張所	0869-67-2840

修理 日生港に小型船舶の修理ができる造船所がある。

名 称	電 話 番 号
(有)中本造船所	0869-72-0327

海上交通 日生港と**大部港** {小豆島}との間にカーフェリー便がある。(休止中)

岡 山 港 ($34^{\circ} 36' N$ $133^{\circ} 58' E$) (海図W155) (JP OKP)



(2021年7月撮影)

港種 港則法適用港・重要港湾

概要 岡山水道の奥部にある。港湾法上の岡山港の区域は、港則法上の**西大寺港** ($34^{\circ} 36.3' N$ $134^{\circ} 02.3' E$) (JP SDZ) 及び**小串港** ($34^{\circ} 36.0' N$ $134^{\circ} 02.0' E$) (JP KOG) を含めた区域である。東方約8Mに**牛窓港** ($34^{\circ} 36.7' N$ $134^{\circ} 09.6' E$ 、港則法適用港) (JP USH) がある。

目標

地 物 名	概 位	備 考
高 島	$34^{\circ} 36.2' N$ $133^{\circ} 59.4' E$	高さ 27m、平頂な島で樹木が茂っている。
2架空線用鉄塔	$34^{\circ} 36.2' N$ $133^{\circ} 58.0' E$	高さ 83m、赤白塗
	$34^{\circ} 36.3' N$ $133^{\circ} 58.3' E$	高さ 80m、赤白塗

針路法 岡山水道入口の岡山第1号灯浮標 ($34^{\circ} 34.2' N$ $134^{\circ} 03.6' E$) の東側から水道入口の中央に進航し、水路の中央やや西岸寄り（水深5m以深の海域）を航行する。小串港内で針路を西方に変え、ツブシ礁灯標 ($34^{\circ} 36.1' N$ $134^{\circ} 00.8' E$) とその南西方の**鼻面埼** ($34^{\circ} 35.9' N$ $134^{\circ} 00.7' E$) の間を通航して、灯浮標で表示された水路を通航し港口に向かう。

水路は狭く、両側は、おおむね水深2m以下であるので水路を離脱しないよう注意を要する。

医療施設

名 称	電 話 番 号
玉野市民病院たまの病院	0863-31-2101

海上交通 直島、豊島及び土庄港との間にカーフェリー便及び旅客船便がある。

日 比 港 ($34^{\circ} 27.2' N$ $133^{\circ} 55.7' E$) (海図W154) (JP HIB)

港種 港則法適用港

概要 宇野港の南西隣にあり、昔から付近を通航する小型船の避泊地として利用されており、港内は年間を通じて穏やかである。港湾法上は宇野港の港湾区域に含まれる。

港湾施設

名 称	概 位	長さ (m)	水深 (約m)	係船能力 (D/W×隻)	備 考
-10m物専岸壁	$34^{\circ} 27.1' N$ $133^{\circ} 55.7' E$	185	9~9.5	15,000×1	

※上表のほか、会社専用の係船施設がある。

台風・津波対策 台風・津波等による海難事故を防止するため、台風等対策分科会が設置されており、在港船舶などに対し、情報の伝達及び警戒体制・避難・入港制限の勧告・解除等の災害防止措置を指導している。(問合せ先：玉野海上保安部)

第2節 備讃瀬戸西部**琴 浦 港** ($34^{\circ} 28' N$ $133^{\circ} 51' E$) (海図W1371) (JP JKT)

港種 港則法適用港

概要 水島港の東方約5Mにある港で、港湾法上では味野港 ($34^{\circ} 27.7' N$ $133^{\circ} 48.8' E$ 、港則法適用港) (JP AJN) を含め児島港という。味野港南方に下津井港 ($34^{\circ} 26.2' N$ $133^{\circ} 47.8' E$ 、港則法適用港) (JP STI) がある。

医療施設

名 称	電 話 番 号
倉敷市立市民病院	086-472-8111

水 島 港 ($34^{\circ} 29' N$ $133^{\circ} 43' E$) (海図W1116、W1127^A、W1127^B) (JP MIZ)

港種 特定港・開港・検疫港・出入国港・家畜検疫の港・植物防疫の港・国際拠点港湾

概要 瀬戸内海の中央部北側にあり、高梁《タカハシ》川河口左岸の水島地区と右岸の玉島地区から成る工業港及び商港である。大型タンカー等が水島航路を通って出入りする(第2編 航路記、第2章 播磨灘～来島海峡、第2節 水島航路の項参照)。

通信 船舶と港長及び港湾管理者との間でVHF無線電話による港務通信ができる（第1編 総記、第8章 海難防止、港務通信の項参照）。

1 港長との港務通信

識別信号	呼出応答	通信	運用時間	連絡先	備考
びさんマーチス	ch13、ch16	ch13、ch14、ch66	常時	備讃瀬戸海上交通センター	水島港港内航路に係る管制通報に関すること。

2 港湾管理者との港務通信

識別信号	呼出応答	通信	運用時間	備考
みずしまポートラジオ	ch16	ch07、ch11、ch12、ch18	常時	水島港 VTIS センター TEL 086-526-0301

錨泊禁止 港内航路北口～港奥間、同航路南口東側～葛《カツラ》島 ($34^{\circ} 27.8' N$ $133^{\circ} 45.7' E$) 付近間及びJFEスチール西日本製鉄所 ($34^{\circ} 29' N$ $133^{\circ} 43' E$) 南側海域は錨泊禁止区域になっている。

航泊制限 港内航行中の一般船舶は引火による船舶の事故を防止するため、一般船舶の港内停泊中の引火性危険物積載タンカーから30m以内の海域への立ち入りが港長により禁止されている。

錨地 検疫錨地は濃地諸島 ($34^{\circ} 26.9' N$ $133^{\circ} 45.1' E$) の南西側にある。

台風・津波対策 台風・津波等による海難事故を防止するため、水島港台風等対策委員会が設置されており、在港船舶などに対し、情報の伝達及び警戒体制・避難・入港制限の勧告・解除等の災害防止措置を指導している。（問合せ先：水島海上保安部）

海事関係官公署

名称	電話番号
水島海上保安部（港長）	086-444-2967
神戸税関水島税関支署	086-448-3375
広島検疫所水島出張所	086-444-7701
神戸植物防疫所広島支所水島出張所	086-444-6001
中国運輸局岡山運輸支局水島海事事務所	086-444-7750
岡山県備中県民局水島港湾事務所	086-444-7141

医療施設

名称	電話番号
倉敷中央病院	086-422-0210

1 水島地区 (海図W1127^A、W1127^B)

(2021年7月撮影)

概要 高梁川河口の左岸埋立地にあり、我が国有数の石油化学工業地帯の建設に伴い急速に発展した工業港である。港内に港内航路がある。

目標

地物名	概位	備考
濃地諸島	34° 26.9' N 133° 45.1' E	上濃地島（高さ 29m）、太濃地島（高さ 43m）、細濃地島（高さ 29m）、イザロ濃地島（高さ 28m）の4島から成る。
葛《カツラ》島	34° 27.8' N 133° 45.7' E	高さ 35m
水島信号所	34° 28.7' N 133° 45.5' E	白塗
煙突群	34° 28.8' N 133° 44.1' E	高さ 125～136m、各赤白塗、製鉄所構内
煙突	34° 29.5' N 133° 43.5' E	高さ 204m、赤白塗、製鉄所構内
上水島	34° 27.8' N 133° 42.8' E	高さ 51m
下水島	34° 27.8' N 133° 41.5' E	高さ 60m

法定航路 港内航路は、海上交通安全法の水島航路北口と接続しており、長さ約 2.5M、幅 450～700m、水深約 16～22m の航路であり、灯浮標で表示されている。

水路

- 1 港内航路南口東側から北方の瀬戸埠頭桟橋 (34° 28.1' N 133° 46.0' E) 方面への水深 12m 以上の水路があり、灯浮標で表示されている。
- 2 濃地諸島北側から JFE スチール西日本製鉄所南側を経て高梁川河口に至る水深 12m 以上の水路があり、灯浮標により表示されている。
- 3 港湾管理者が定める水島港運航調整ガイドラインに基づき、水島港 VTIS センターが運航調整を実施している。

信号 水島信号所（目標の項参照）において、港内航路の交通整理のため、電光表示盤により次表に示す航行管制を行っている。

更に、AIS を活用した新たな港内交通管制が導入され、一定条件のもと港長の許可を受け、指示を受けた管

航する多数の内航船舶が水島港へ入出港し、または水島航路を横断するため注意を要する。

5 水島港付近は、漁業操業が盛んであり、特にタコ縄漁業、流し網漁の絡網事故が多発している。**10月から4月上旬にかけては、のり養殖施設が設置されているため**注意を要する。

港湾施設

名 称	概 位	長さ (m)	水深 (約m)	係船能力 (D/W×隻)	備 考
高島-5.0m岸壁	34° 28.4' N 133° 45.5' E	141	3~5	2,000×2	
西公共ふ頭1号岸壁	34° 30.6' N 133° 44.2' E	185	10	15,000×1	
西公共ふ頭2号岸壁		130	9	10,000×1	
東公共岸壁	34° 31.2' N 133° 44.4' E	375	5~5.5	2,000×4	
東公共物揚場	34° 31.3' N 133° 44.4' E	227	4.5 以下	500 t 級	
西公共-4m物揚場	34° 31.4' N 133° 44.2' E	310	2.5~3	500 t 級	クレーン

※上表のほか、会社専用の係船施設がある。

架空管 水島信号所の北方約0.8Mの天神ヶ鼻から西方の対岸に至る配管橋（高さ23m）がある。

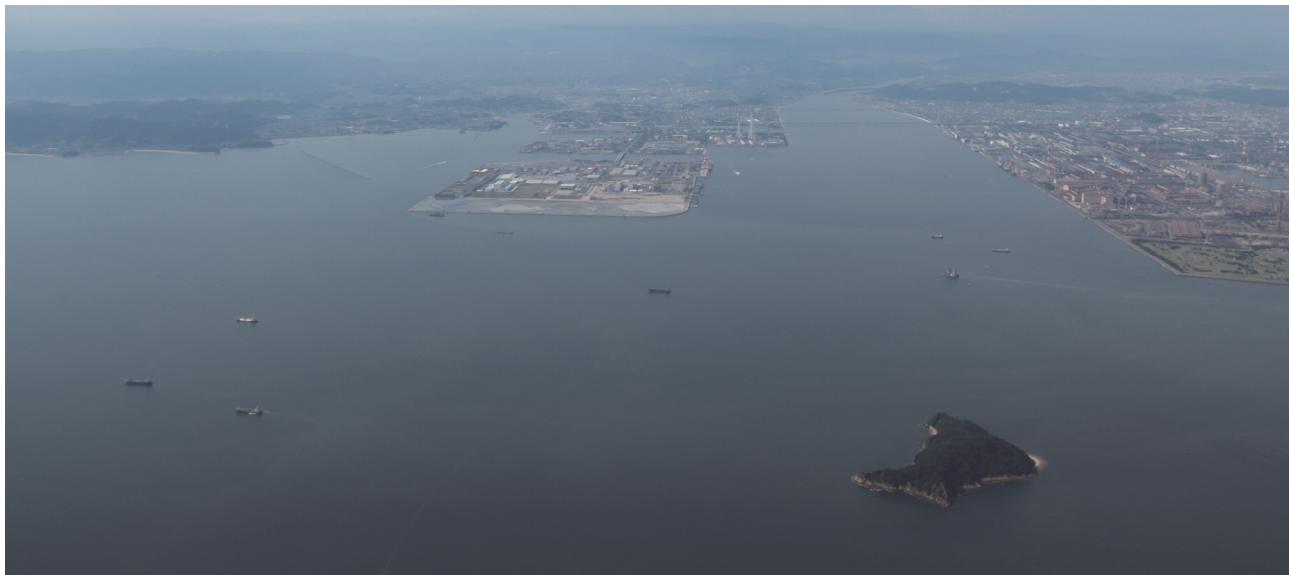
最大入港船舶 2002年、タンカー NEW CIRCASSIA (163,346t、喫水16m) がENEOS原油2号桟橋 (34° 29.4' N 133° 44.8' E) に着桟した。

引船 引船が多数ある。

通船 通船、綱取船もある。

補給 給水船、給油船がある。

2 玉島地区 (海図W1127^B)



(2021年7月撮影)

概要 高梁川河口の右岸にあり、商港としての性格を有している。この地区は掘下げ水路を除いては浅い。

目標

地 物 名	概 位	備 考
2 煙 突	34° 30.9' N 133° 41.2' E	高さ 233m及び173m、各灰塗、発電所構内
4 架空線用鉄塔	34° 31.2' N 133° 40.3' E	高さ約 102m (赤白塗) 及び 70m
	34° 31.1' N 133° 39.9' E	高さ約 127m (赤白塗) 及び 82m

水路

- 1 高梁川河口東寄りに水深約 5~11.5mの掘下げ水路がある。さらに同水路から北西方の玉島乙島地区 (34° 31.4' N 133° 41.1' E) に至る水路がある。
- 2 下水島北北東方約 0.4Mから北方の発電所に至る幅約 300m、水深約 10mの掘下げ水路がある。
- 3 下水島西北西方約 1.5Mから北方の玉島4号ふ頭に至る幅約 150m、水深約 7.5mの掘下げ水路がある。各水路は灯浮標及び浮標で表示されているが、水路の両側は、急に浅くなっているので注意を要する。
- 4 港湾管理者が定める水島港運航調整ガイドラインに基づき、水島港 VTIS センターが運航調整を実施している。

港湾施設

名 称	概 位	長さ (m)	水深 (約m)	係船能力 (D/W×隻)	備 考
玉島外貿 1号ふ頭岸壁	34° 30.5' N 133° 41.0' E	370	10~10.5	15,000×2	
玉島 1号ふ頭岸壁	34° 31.1' N 133° 40.4' E	630	4~5.5	2,000×7	
玉島 2号ふ頭物揚場	34° 31.0' N 133° 40.6' E	380	4	700×5	
玉島 3号ふ頭岸壁	34° 30.8' N 133° 40.3' E	730	3.5~5.5	2,000×8	
玉島 4号ふ頭岸壁	34° 30.5' N 133° 40.2' E	780	7.5~8	5,000×6	
玉島ハーバーアイランド 4号ふ頭岸壁	34° 30.2' N 133° 40.3' E	520	7.5	5,000×4	
玉島ハーバーアイランド 5号ふ頭物揚場	34° 30.3' N 133° 40.9' E	380	4	200(小型貨物) 300(えい船)	
国際コンテナターミナル岸壁	34° 30.1' N 133° 41.1' E	340	10~10.5	10,000×2	コンテナクレーン
		240	12	23,600×1	
玉島ハーバーアイランド 7号ふ頭桟橋 1 (北側)	34° 29.7' N 133° 41.1' E	320	12	120,000×1	移動クレーン
玉島ハーバーアイランド 7号ふ頭桟橋 2 (中央)		100	5.5~6	1,640×1	
玉島ハーバーアイランド 7号ふ頭桟橋 (南側)	34° 29.5' N 133° 41.0' E	108	5~5.5	1,640×1	
玉島-4m物揚場	34° 31.2' N 133° 40.2' E	653	1.5~3.5	700×9	

※上表のほか、会社専用の係船施設がある。

架橋 高梁川の港界付近に玉島地区と水島地区を結ぶ倉敷みなと大橋 (高さ 10m) がある。

架空線

概 位	本数	高さ (m)	
高梁川河口	34° 31.4' N 133° 41.9' E	1	西側 23、東側 25
玉島乙島地区	34° 31.4' N 133° 40.9' E	1	26
玉島 1号ふ頭西方	34° 31.2' N 133° 40.1' E	2	南側 39、北側 32

通信 船舶と港湾管理者との間でVHF無線電話による港務通信ができる（第1編 総記、第8章 海難防止、港務通信の項参照）。

識別信号	呼出応答	通信	運用時間	備考	
ふくやまポートラジオ	ch16	ch11、ch12、ch14	常時	JFE 福山ポートサービス	TEL 084-941-5613

航泊制限 港内を航行中の一般船舶は引火による船舶の事故を防止するため、一般船舶の港内停泊中の引火性危険物積載タンカーから30m以内の海域への立ち入りが港長により禁止されている。

錨地 検疫錨地は港南部の仙酔島東方1.5M付近にある。危険物積載船の錨地は神島（34° 26.9' N 133° 28.8' E）の西方海域に指定されている。

港湾施設 港湾施設（新笠岡港岸壁を除く。）の使用にあたっては、（株）ひろしま港湾管理センター福山営業所（TEL 084-981-5760）、新笠岡港岸壁の使用にあたっては、岡山県備中県民局井笠地域事務所地域管理課（TEL 0865-69-1634）に申し込む。

名称	概位	長さ (m)	水深 (約m)	係船能力 (D/W×隻)	備考
新笠岡港岸壁	34° 27.9' N 133° 29.0' E	180	4.5	700×3	
	34° 27.8' N 133° 28.9' E	180	5.5	2,000×2	
沖浦東岸壁	34° 28.7' N 133° 24.8' E	120	3~4.5	500×2	
沖浦西岸壁	34° 28.8' N 133° 24.7' E	300	1~4	500×5	前面に険悪地がある。
一文字岸壁	34° 28.1' N 133° 24.6' E	450	4~5.5	1,000×5	
箕島1号岸壁	34° 27.2' N 133° 24.9' E	450	2.5~3.5	1,500×5	前面に撤去跡がある。
箕島2号・3号岸壁	34° 27.1' N 133° 25.1' E	520	6.5~7.5	5,000×4	前面に撤去跡がある。
箕沖1号・2号岸壁	34° 26.1' N 133° 26.4' E	420	9~10	12,000×1 25,000×1	コンテナクレーン

※上表のほか、会社専用の係船施設がある。

架空線 港奥の沖浦岸壁付近に2架空線（高さ68m及び55m）がある。

最大入港船舶 1992年9月11日、鉱石運搬船GRAND・PHOENIX（154,098t、喫水15.2m）がJFEスチール原料岸壁Mバース（34° 27.0' N 133° 26.7' E）に着岸した。

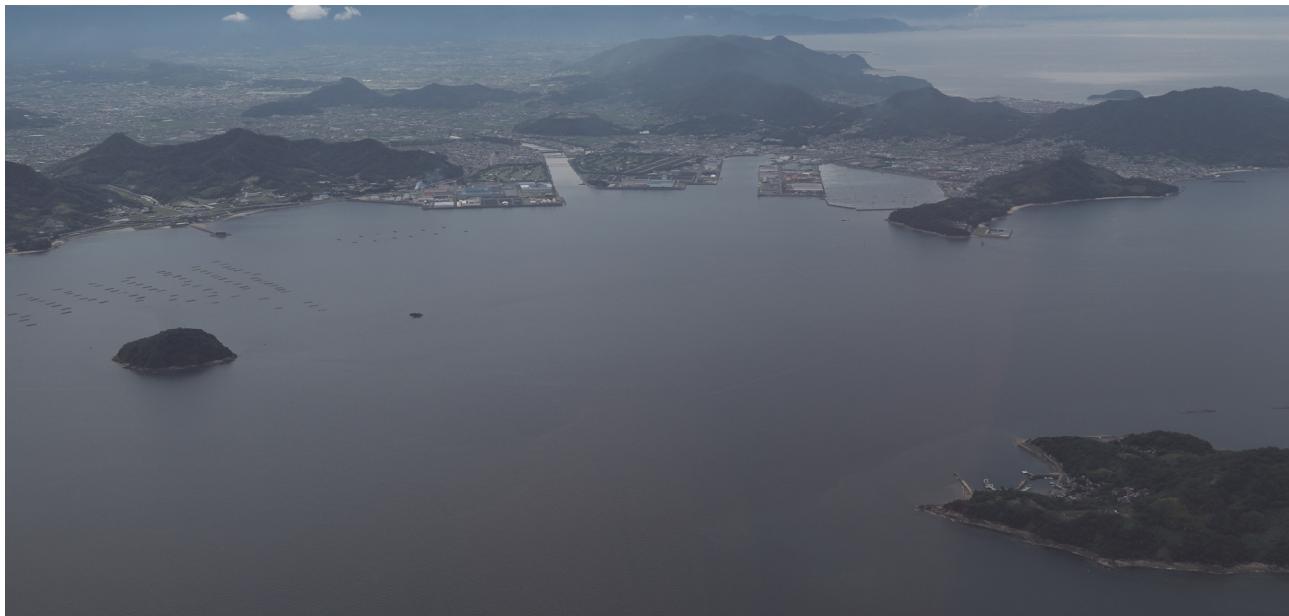
台風・津波対策 台風・津波等による海難事故を防止するため、福山港台風等対策委員会が設置されており、在港船舶などに対し、情報の伝達及び警戒体制・避難・入港制限の勧告・解除等の災害防止措置を指導している。（問合せ先：福山海上保安署）

海事関係官公署

名称	電話番号
福山海上保安署（港長）	084-943-5950
広島出入国在留管理局福山出張所	084-973-8090
神戸税関福山税関支署	084-941-4506
広島検疫所福山出張所	084-941-2497
広島県東部建設事務所	084-921-1311

引船 引船（最大3,600PS）が数隻ある。

通船 数隻ある。

詫間《タクマ》港 ($34^{\circ} 14' N$ $133^{\circ} 40' E$) (海図W1445) (JP TKM)

(2021年7月撮影)

港種 港則法適用港・開港・出入国港・植物防检疫の港

概要 丸亀港の南西方約 6Mにあり、東部は産業木材港として木材外航船が出入港している。北寄りの強風時は沖合荷役に支障があるという。

目標

地物名	概位	備考
亀笠《カメガサ》島	$34^{\circ} 15.5' N$ $133^{\circ} 42.1' E$	高さ 59m、小島
岩島	$34^{\circ} 15.3' N$ $133^{\circ} 41.7' E$	高さ 3.4m、港域北東端

水路 高谷鼻 ($34^{\circ} 14.8' N$ $133^{\circ} 40.4' E$) の東側 500m付近から、港奥に至る水深 7.5~8mの水路があり、灯浮標及び導標 ($34^{\circ} 14.0' N$ $133^{\circ} 40.9 E$ 、2 標一線 166°) により表示されている。この水路以外は水深 5m以下で浅い。

港湾施設

名称	概位	長さ (m)	水深 (約m)	係船能力 (D/W×隻)	備考
詫間1号-5.5m岸壁	$34^{\circ} 14.0' N$ $133^{\circ} 40.7' E$	90	5.5~7	3,000 t×1	クレーン
詫間2号-7.5m岸壁	$34^{\circ} 14.1' N$ $133^{\circ} 40.7' E$	125	7.5	5,000 t×1	
詫間3号-7.5m岸壁		130	7.5	5,000×1	
松下-4.5m岸壁	$34^{\circ} 13.9' N$ $133^{\circ} 40.8' E$	120	未測	700×1	
水出-4.5m岸壁	$34^{\circ} 14.2' N$ $133^{\circ} 41.3' E$	120	4.5	700×1	

海事関係官公署

名称	電話番号
神戸税関坂出税關支署詫間出張所	0875-83-3071

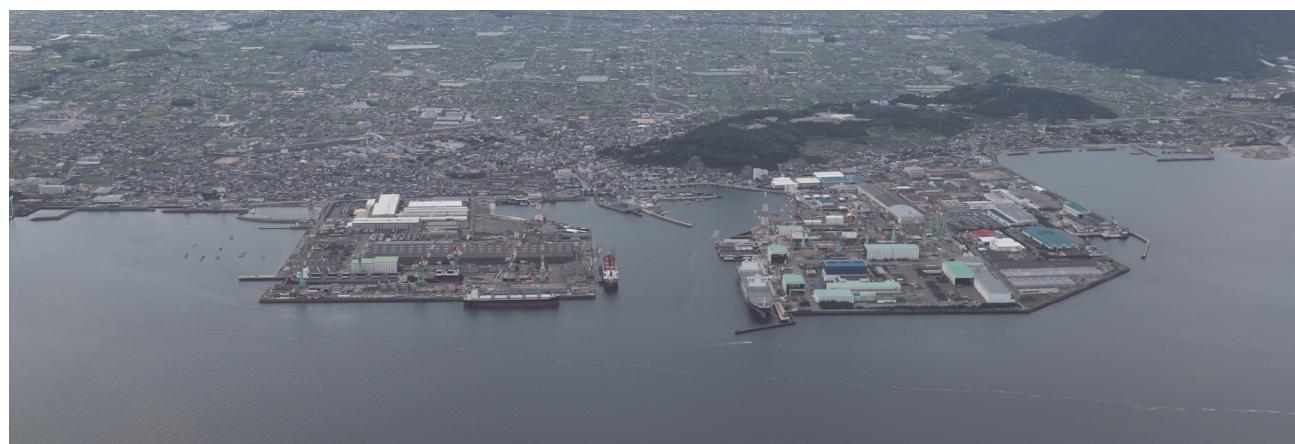
引船 木材用の引船がある。

通船 木材用の通船がある。

補給 訓問1号—5.5m岸壁、同2号—7.5m岸壁及び同3号—7.5m岸壁並びに水出—4.5m岸壁で給水が出来る。

名 称	電 話 番 号
三豊市立みとよ市民病院	0875-83-3001

多度津《タドツ》港 ($34^{\circ} 16.5' N$ $133^{\circ} 44.5' E$) (海図W1139) (JP TAD)



(2021年7月撮影)

港種 港則法適用港・開港

概要 丸亀港の南西方約2.2Mにある臨海工業地帯である。造船所などがある。

目標

地 物 名	概 位	備 考
扇山〔多度津山〕	$34^{\circ} 16.1' N$ $133^{\circ} 44.7' E$	高さ93m、港奥に孤立して見える。
2架空線用鉄塔	$34^{\circ} 16.5' N$ $133^{\circ} 44.4' E$	赤白塗
	$34^{\circ} 16.7' N$ $133^{\circ} 44.7' E$	

針路法 港外の北西方から入港する場合は、扇山を 158° に見て航行し、内港東、西両防波堤のほぼ中央を通航して入港する。

港湾施設

名 称	概 位	長さ (m)	水深 (約m)	係船能力 (D/W×隻)	備 考
東港町岸壁	$34^{\circ} 16.6' N$ $133^{\circ} 44.7' E$	222	5~6	3,000 t×1	
外港浮桟橋	$34^{\circ} 16.4' N$ $133^{\circ} 44.6' E$	20×2	2~2.5	2,000 t×1	
西港町1号岸壁	$34^{\circ} 16.5' N$ $133^{\circ} 44.4' E$	106	6	3,000 t×1	クレーン
矢板岸壁	$34^{\circ} 16.4' N$ $133^{\circ} 43.9' E$	119	2.5~3.5	3,000 t×1	

架空線 内港西防波堤付近～北東方対岸間に架空線 ($34^{\circ} 16.6' N$ $133^{\circ} 44.5' E$ 、高さ約59m) がある。

補給 給油が可能である。

修理

名 称	電 話 番 号
今治造船(株)丸亀事業本部西多度津事業部	0877-32-1000
多度津造船(株)	0877-33-2111

海上交通 高見島及び佐柳島との間にカーフェリー便がある。

丸 亀 港 ($34^{\circ} 18' N$ $133^{\circ} 47' E$) (海図W1123) (JP MAR)



(2021年7月撮影)

港種 港則法適用港・開港・出入国港・植物防疫の港

概要 坂出港の南西方約4Mにあり、臨海工業地帯の整備に伴い工業港として発展し、大型船が出入港する。

目標

地 物 名	概 位	備 考	
上 真 島	$34^{\circ} 19.0' N$ $133^{\circ} 47.5' E$	高さ 36m、おわん形、港域北東端	
下 真 島	$34^{\circ} 18.1' N$ $133^{\circ} 45.9' E$	高さ 31m、干出浜で埋立地に続いている。	
丸亀城天守閣	$34^{\circ} 17.2' N$ $133^{\circ} 48.0' E$	高さ 82m、白壁、照明灯で照らされる。	

水路 港内の東側と西側に水路があり、東側は水深約6~7.5m、西側は水深約10~13mである。

注意 造船所 ($34^{\circ} 18.0' N$ $133^{\circ} 46.1' E$) 前面に多数の険悪地があるので、投錨するときは注意を要する。

名 称	概 位	長さ (m)	水深 (約m)	係船能力 (D/W×隻)	備 考
外堀岸壁 外堀1号岸壁	$34^{\circ} 17.9' N$ $133^{\circ} 47.5' E$	92		1,000 t	
外堀2号岸壁		80	3.5~4.5	1,000 t	
外堀3号岸壁		70		1,000 t	
蓬莱町公共岸壁	$34^{\circ} 17.8' N$ $133^{\circ} 47.3' E$	540	2.5~4.5	-	
昭和町岸壁	$34^{\circ} 17.5' N$ $133^{\circ} 46.5' E$	240	2~4	1,000 t×3	前面に険悪地がある。

補給 給油船がある。

目標

地 物 名	概 位	備 考
小瀬居島	34° 22.4' N 133° 51.2' E	高さ 41m、北端に灯台がある。
瀬居島	34° 21.3' N 133° 51.2' E	高さ 112m、樹木が多い。
飯野山	34° 16.5' N 133° 50.8' E	高さ 422m、円すい形、遠望顕著
備讃瀬戸海上交通センター	34° 18.2' N 133° 49.3' E	白塗、背後に青ノ山（高さ 224m）がある。
聖通寺《ショウツウジ》山	34° 19.0' N 133° 50.0' E	高さ 117m、北西方に著屋がある。
2 煙 突	34° 20.5' N 133° 50.7' E	高さ 204m及び 133m、各白塗、発電所構内

通信 船舶と港長及び港湾管理者との間で VHF 無線電話による港務通信ができる（第1編 総記、第8章 海難防止、港務通信の項参照）。

1 港長との港務通信

識別信号	呼出応答	通 信	運用時間	連絡先	連絡の方法
ひろしまほあん	ch16	ch12	常 時	坂出海上保安署	「ひろしまほあん」を呼出し、坂出海上保安署への接続を依頼する。

2 港湾管理者との港務通信

識別信号	呼出応答	通 信	運用時間	備 考
さかいいでポートラジオ	ch16	ch11、ch12、ch14	0600～2000	坂出ポートラジオ TEL 0877-46-8945

信号 坂出ポートラジオが瀬居島の信号所（34° 21.5' N 133° 51.1' E）において、瀬居島西側の泊地（34° 21.1' N 133° 50.4' E）に入出港する船舶に対し、管制信号（電光表示）を行っている。

信 号	信 号 の 意 味
信号消灯	5,000 t 未満の船舶は入出港可。
緑色正方形	コスモ石油 1号桟橋（34° 21.7' N 133° 50.2' E）に離着桟しようとする 5,000 t 以上の船舶あり。当該船舶以外は入出港を停止して待機（小瀬居島と瀬居島間を航行して泊地に入出港する 5,000 t 未満の船舶を除く。）。
緑色×形	5,000 t 未満の船舶は入出港禁止。

航泊制限 港内を航行中の一般船舶は引火による船舶の事故を防止するため、一般船舶の港内停泊中の引火性危険物積載タンカーから 30m以内の海域への立ち入りが港長により禁止されている。

錨地 検疫錨地は瀬居島の東方約 1M にある。危険物積載船錨地は第 2 区に指定されている。

港湾施設

名 称	概 位	長さ (m)	水深 (約m)	係船能力 (D/W×隻)	備 考
松ヶ浦岸壁	34° 21.2' N 133° 53.5' E	210	5	1,000×3	
林田 A 号岸壁	34° 20.6' N 133° 52.6' E	240	12	30,000×1	
林田 B 号岸壁	34° 20.6' N 133° 52.8' E	260	7.5	5,000×2	前面に険悪地がある。
林田 C 号岸壁	34° 20.5' N 133° 52.9' E	270	5～6	2,000×3	
林田 D 号岸壁	34° 20.5' N 133° 53.0' E	120	4.5～5	700×2	
阿河浜岸壁	34° 20.4' N 133° 52.3' E	130	7.5	5,000×1	
東運河岸壁	34° 19.8' N 133° 51.8' E	480	2.5～4.5	700×6	

竹原港 ($34^{\circ} 19.3' N$ $132^{\circ} 54.9' E$) (海図W141、W1261) (JP THR)

港種 港則法適用港・開港・植物防疫の港

概要 尾道糸崎港の西南西方約10Mにあり、竹原市街を貫流する本川の河口港で、港域は東西約5Mある。主に製錬所の原材料や製品を輸送する小型船が出入する。東方約2Mに忠海港 ($34^{\circ} 20.1' N$ $132^{\circ} 59.7' E$ 、港則法適用港) (JP TDN) がある。

目標

地物名	概位	備考
2 煙突	$34^{\circ} 20.2' N$ $132^{\circ} 57.5' E$	高さ204m及び203m、各灰色塗、発電所構内
阿波《アバ》島	$34^{\circ} 19.1' N$ $132^{\circ} 56.6' E$	北頂は高さ76m、南頂は高さ99m
塔	$34^{\circ} 19.6' N$ $132^{\circ} 55.2' E$	高さ71m、灯ろう形
煙突	$34^{\circ} 20.3' N$ $132^{\circ} 54.8' E$	高さ122m、赤白塗、精錬所構内

港湾施設

名称	概位	長さ (m)	水深 (約m)	係船能力 (D/W×隻)	備考
明神岸壁	$34^{\circ} 19.7' N$ $132^{\circ} 54.8' E$	120	—	—	
新浜岸壁	$34^{\circ} 20.1' N$ $132^{\circ} 54.8' E$	420	2以下	—	

台風・津波対策 台風・津波等による海難事故を防止するため、呉港付近台風等対策分科会が設置されており、在港船舶などに対し、情報の伝達及び警戒体制・避難・入港制限の勧告・解除等の災害防止措置を指導している。(問合せ先:呉海上保安部)

海事関係官公署

名称	電話番号
竹原市建設部建設課港湾管理事務所	0846-22-0173

海上交通 大崎上島との間に旅客船便及びカーフェリー便が、**大崎下島との間に旅客船便**ある。

木ノ江《キノエ》港 ($34^{\circ} 14.0' N$ $132^{\circ} 55.2' E$) (海図W103、W104、W141) (JP KNE)

港種 港則法適用港

概要 大崎上島の東岸にある港で、弓形をなして西方に湾入りし、その中央部に防波堤で囲まれた内港（水深0.5～4m）がある。東寄りの風を除けば底質砂混じりの粘土層で錨かきも良く、小型船の避泊によい。

大崎上島南部の草木新開《クサギシンガイ》にMGCターミナル（1号は48,000D/W用、2号は13,000D/W用）が、同島の北西部に**大西港** ($34^{\circ} 15.3' N$ $132^{\circ} 52.7' E$ 、港則法適用港) (JP ONS)、同島北岸に**鰐崎《メバルザキ》港** ($34^{\circ} 16.6' N$ $132^{\circ} 55.0' E$ 、港則法適用港) (JP MBR) がある。

港湾施設 内港の南端付近に天満桟橋（水深3m）、内港北端の一貫目鼻付近に一貫目桟橋（水深5m）がある。

架橋 大西港の大崎上島～長島間に長島大橋（高さ25m）がある。

架空線 大西港の大崎上島～長島間に架空線（高さ41m）及び鰐崎港の大崎上島～生野島間に架空線（高さ40m）がある。

台風・津波対策 台風・津波等による海難事故を防止するため、呉港付近台風等対策分科会が設置されており、在港船舶などに対し、情報の伝達及び警戒体制・避難・入港制限の勧告・解除等の災害防止措置を指導している。（問合せ先：呉海上保安部）

海事関係官公署

名 称	電 話 番 号
呉海上保安部木江分室	0846-62-0807

修理

名 称	電 話 番 号
大西組造船所（株）大崎ドック	0846-64-4611
小池造船海運（株）	0846-64-2620

海上交通 竹原港、今治港などとの間に旅客船便またはカーフェリー便がある。

吉海港 ($34^{\circ} 09.3' N$ $133^{\circ} 02.1' E$) (海図W132) (JP YHI)

港種 港則法適用港

概要 来島海峡北東側の大島西岸にある港で、港内の水深は4m以下である。

港湾施設 物揚場があり、水深は約2.5mである。

Mの地点に至る幅約320~400mの航路がある。

通信 船舶と港長及び港湾管理者との間でVHF無線電話による港務通信ができる（第1編総記、第8章海難防止、港務通信の項参照）。

1 港長との港務通信

識別信号	呼出応答	通信	運用時間	連絡先	連絡の方法
ひろしまほあん	ch16	ch12	常時	広島海上保安部	TEL 082-253-3111 「ひろしまほあん」を呼び出し、広島海上保安部への接続を依頼する。

2 港湾管理者との港務通信

識別信号	呼出応答	通信	運用時間	備考
ひろしまポートラジオ	ch16	Ch11、ch12、ch14	常時	TEL 082-251-6033

航泊制限 港内を航行中の一般船舶は引火による事故を防止するため、港内停泊中の引火性危険物積載タンカーから30m以内の海域への立ち入りが港長により禁止されている。

錨地 港内の底質は、比較的堅い細砂混じりの粘土で、錨泊に適する。検疫錨地は第2区の峠島（34°18.8' N 132°27.8' E）北東方に、また、危険物積載船の錨地は第3区の南方海域にそれぞれ指定されている。

港内にはカキの養殖施設が多数あるので、錨泊位置には注意を要する。

港湾施設 公共港湾施設の使用にあたっては株式会社ひろしま港湾管理センター（本社）（TEL 082-250-7160）に申し込むこと。

第1区

名 称	概 位	長さ (m)	水深 (約m)	係船能力 (D/W×隻)	備 考
海田1号岸壁	34°21.4' N 132°31.0' E	650	7~7.5	5,000×5	コンテナクレーン
海田2号岸壁		720	5	2,000×8	
宇品外貿ふ頭 1~4号岸壁	34°21.3' N 132°28.5' E	770	9~10	15,000×4	前面に険悪地がある。 4号岸壁工事中
宇品外貿ふ頭 5号岸壁		185	10	120,000×1	前面に険悪地がある。
宇品外貿ふ頭 ドルフィン		155			
市営桟橋	34°21.2' N 132°27.8' E	180	-	500×2	

第3区

出島東1号岸壁	34°21.0' N 132°27.0' E	160	3~7.5	5,000×1	前面に険悪地がある。
出島東2号岸壁		180	3.5~4.5	700×3	
出島西1号岸壁	34°21.4' N 132°26.8' E	480	3~4	700×8	前面に険悪地がある。
出島西2号岸壁		685	4~5.5	2,000×7	
出島1号岸壁	34°21.0' N 132°26.4' E	110	5.5	2,000×1	前面に険悪地がある。
出島2号岸壁		150×2	7.5	5,000×2	コンテナ船、自動車運搬船用 コンテナクレーン 前面に険悪地がある。
出島3号岸壁		330	14~14.5	50,000×1	コンテナ船専用 コンテナクレーン

岩国港 ($34^{\circ} 09.0' N$ $132^{\circ} 15.2' E$) (海図W113、W1136) (JP IWK)

(2021年7月撮影)

港種 特定港・開港・検疫港・出入国港・植物防疫の港・重要港湾

概要 広島湾の西岸にあり、港内は第1区及び第2区の2港区に分かれている。今津川南側の諸施設を、米軍及び自衛隊が使用している。東方約9Mの能美島西岸に鹿川《カノカワ》港 ($34^{\circ} 11.0' N$ $132^{\circ} 26.5' E$ 、出入国港) がある。

水先 内海水先区水先人会に要請する。(第1編総記、第6章水先、水先人会の項参照)

目標

地物名	概位	備考
4 タンク	$34^{\circ} 12.4' N$ $132^{\circ} 14.6' E$	各銀色塗、石油会社構内
2 煙突	$34^{\circ} 10.6' N$ $132^{\circ} 14.4' E$	高さ82m、赤白塗、製紙工場構内
2 煙突	$34^{\circ} 07.1' N$ $132^{\circ} 12.1' E$	北から高さ155m及び206m、各クリーム色塗、発電所構内

針路法

1 東方から入港するには、柱島水道を北上し、広島湾第2号灯浮標 ($34^{\circ} 08.3' N$ $132^{\circ} 21.8' E$) を航過後、岩国港北防波堤灯台 ($34^{\circ} 11.6' N$ $132^{\circ} 14.1' E$) に向首し、針路 298° で検疫錨地へ向かう。

2 大畠瀬戸方面から入港するには、米軍基地の沖合にある後述の航行禁止区域を避けるため、甲《カブト》島と姫小島の中間のやや東側を通航し、岩国港C灯浮標 ($34^{\circ} 08.3' N$ $132^{\circ} 17.6' E$) に並行後徐々に針路を左転し、港内へ向かう。

通信 船舶と港長との間でVHF無線電話による港務通信ができる(第1編総記、第8章海難防止、港務通信の項参照)。

識別信号	呼出応答	通信	運用時間	連絡先	連絡の方法
ひろしまほあん	ch16	ch12	常時	岩国海上保安署	TEL0827-21-6118 「ひろしまほあん」を呼び出し、岩国海上保安署への接続を依頼する。

航行禁止 岩国港B、C、D各灯浮標を結ぶ線と西方の陸岸との間の海域は航行が禁止されている。

航泊制限 港内を航行中の一般船舶は引火による事故を防止するため、港内停泊中の引火性危険物積載タンカーから30m以内の海域への立ち入りが港長により禁止されている。

錨地 門前川河口の南西方で水深10~15m、底質泥の所は北西風時に良い避泊地である。

検疫錨地は阿多田島(34° 11.5' N 132° 18.4' E)の南西方約1Mの港界付近に、危険物積載船の錨地は第1区内の岩国港北防波堤灯台の東方約0.6Mにそれぞれ指定されている。

港湾施設

名 称	概 位	長さ (m)	水深 (約m)	係船能力 (D/W×隻)	備 考
装束1号岸壁	34° 11.7' N 132° 14.3' E	185	9.5	15,000×1	
装束2号岸壁		180	5~5.5	2,000×2	
新港北岸壁	34° 11.2' N 132° 14.3' E	80	4.5	2,000×1	
新港北1号岸壁		90	5	2,000×1	
新港北2号岸壁	34° 11.2' N 132° 14.3' E	260	6.5~7.5	5,000×2	前面に険悪地がある。
新港南岸壁		370	10	5,000×2	
室の木岸壁(-5.5m)	34° 10.7' N 132° 14.7' E	180	3.5~5	2,000×2	
室の木岸壁(-7.5m)		260	7~7.5	5,000×2	
室の木岸壁(-10m)		185	9.5	15,000×1	
室の木岸壁(-12m)		240	12	30,000×1	
水面貯木場接岸岸壁	34° 10.6' N 132° 14.9' E	205	9.5~10	15,000×1	

※上表のほか、会社専用の係船施設がある。

最大入港船舶 ~~1997年、タンカー NORD ATLANTIC (90,747t、喫水15.5m) がENEOS原油桟橋に着桟した。~~
2018年、客船 DIAMOND PRINCESS (115,875t、喫水8.5m) が新港南桟橋に着桟した。

台風・津波対策 台風・津波等による海難事故を防止するため、岩国港・大竹港台風・津波等対策委員会が設置されており、在港船舶などに対し、情報の伝達及び警戒体制・避難・入港制限の勧告・解除等の災害防止措置を指導している。(問合せ先: 岩国海上保安署)

海事関係官公署

名 称	電 話 番 号
岩国海上保安署(港長)	0827-21-6118
門司税関岩国税関支署	0827-21-7138
山口県岩国港湾管理事務所	0827-22-2271

引船 引船が数隻ある。

通船 数隻ある。

補給 給油船がある。各岸壁、ふ頭には給水施設がある。

廃油処理施設

事 業 者 名	申 込 先	利 用 可 能 時 間	処理する廃油の種類	
			廃 重 質 油	廃 軽 質 油
ENEOS(株)	需給グループ 0827-24-6104	0800~1630	ビルジ、水バラスト、コレクトオイル	水バラスト、タンク洗浄水

シーバース 第3区給島北方に係船浮標係留方式の出光シーバース ($33^{\circ} 59.4' N$ $131^{\circ} 45.9' E$ 、施設灯 (モールス符号白光毎8秒にU(…))) が設置され、**第4区下松桟橋** ($33^{\circ} 58.5' N$ $131^{\circ} 53.4' E$ 、施設灯 (モールス符号白光毎8秒にU(…))) が設置されている。

架橋 第1区新南陽に周南《シュウナン》大橋 (高さ24m) が、第2区宮ノ瀬戸に笠戸大橋 (高さ24m～26m) がある。また、第1区富田川河口に橋の橋脚のみ4基が残存している。

架空線 第2区宮ノ瀬戸の南口に架空線 (高さ26m) がある。

最大入港船舶 2001年、タンカー BERGE STAD (160,467t、喫水19.5m) が出光シーバースに係船した。

台風・津波対策 台風・津波等による海難事故を防止するため、台風・津波等**船舶災害防止**対策検討委員会徳山下松港分科会が設置されており、在港船舶などに対し、情報の伝達及び警戒体制・避難・入港制限の勧告・解除等の災害防止措置を指導している。(問合せ先：徳山海上保安部)

海事関係官公署

名 称	電 話 番 号
徳山海上保安部（港長）	0834-31-0112
徳山海上保安部下松分室	0833-41-3022
広島出入国在留管理局周南出張所	0834-21-1329
門司税関徳山税関支署	0834-21-2540
広島検疫所徳山下松・岩国出張所	0834-21-1091
中国運輸局山口運輸支局(徳山庁舎)	0834-21-0180
山口県周南港湾管理事務所	0834-21-1787

引船 引船が数隻ある。

通船 通船が多数ある。

補給 給水船と給油船がある。

修理 大型船用の施設のほか、小型船用のものが数社ある。

名 称	電 話 番 号
(株) 新笠戸ドック	0833-52-0111

廃油処理施設

事 業 者 名	申 込 先	利 用 可 能 時 間	処理する廃油の種類	
			廃 重 質 油	廃 軽 質 油
出光興産	安全環境室 0834-21-1103	0800～1600	ビルジ・水バラスト	水バラスト

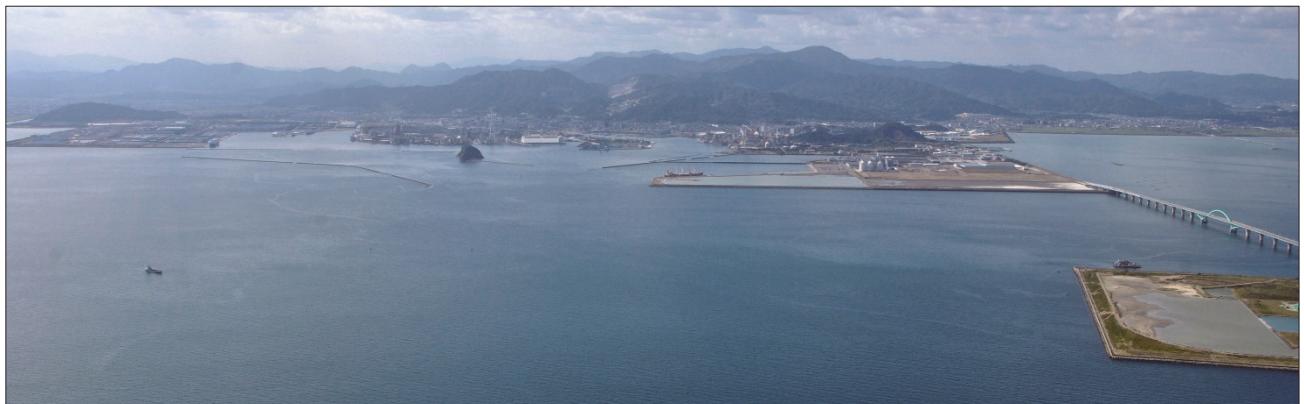
医療施設

名 称	電 話 番 号
徳山中央病院	0834-28-4411

海上交通 竹田津港 {大分県} (33° 41.1' N 131° 34.1' E、港則法適用港) (JP TDJ) 及び大津島との間に旅客船便またはカーフェリー便がある。

第2節 周防灘南部・伊予灘西部

苅田《カンダ》港 ($33^{\circ} 48.1' N$ $131^{\circ} 01.3' E$) (海図W129) (JP KND)



(2021年10月撮影)

港種 港則法適用港・開港・出入国港・植物防疫の港・重要港湾

概要 周防灘の西部、関門海峡東口の南方約10Mにあり、防波堤に囲まれた港内の北西部を本港、南部を南港と称している。港域の北東方には、北九州空港がある。

気象 年間を通じての最多風向は東、春先から夏にかけては東寄りの風が多い。東寄りの強吹時には港内に波浪が侵入する。秋季から冬季にかけては西～北西の風が多いが、山によって遮られ港内は比較的平穏である。秋季～冬季には霧がかかることもあるが、長続きはしない。

水先 内海水先区水先人会に要請する。(第1編総記、第6章水先、水先人会の項参照)

目標

地物名	概位	備考
神《コウ》ノ島	$33^{\circ} 47.5' N$ $131^{\circ} 00.6' E$	高さ53m、東西に細長い島で、港口からは円頂の小島に見える。
煙突	$33^{\circ} 47.2' N$ $130^{\circ} 59.9' E$	高さ204m、青白塗、発電所構内
松山	$33^{\circ} 48.4' N$ $130^{\circ} 59.1' E$	高さ128m、赤茶色の地肌の多い山

水路

1 港外東北東方から苅田港に至る幅約200m、水深10～12mの水路があり、灯浮標により表示されている。

2 神ノ島北東方で本港航路と南港航路に分岐し、本港航路は幅約200m、水深10～12mの水路、南港航路は幅約300m、水深9～10mの水路となっており、数基の灯浮標で表示されている。

3 福岡県苅田港務所が定める苅田港における入出港船舶の運航調整ガイドラインに基づき、苅田港VTISセンターが運航調整を実施している。

通信 船舶と港湾管理者との間でVHF無線電話等により連絡ができる。(第1編総記、第8章海難防止、港務通信の項参照)。

識別信号	呼出応答	通信	運用時間	備 考
かんだポートラジオ	ch16	ch12, ch14, ch64, ch20, ch7	常 時	苅田港 VTIS センター TEL 093-383-0106

航行上の注意 北九州空港北側及び南側には航空法に基づく航空機進入表面区域が設定されている。

南方から入港するとき

小富士	33° 52.9' N 132° 40.3' E	高さ 282m、遠望顯著、興居島南部
黒崎	33° 52.6' N 132° 41.4' E	樹木の茂る崎、興居島南東端
忽那《クツナ》山	33° 50.6' N 132° 42.0' E	高さ 49m、孤立丘、好目標

水路 高浜瀬戸は、北方から松山港に入港する際の水路で、最狭部の可航幅（水深10m以上）約500m、中央の水深50m前後である。

通信 船舶と港長との間でVHF無線電話等による港務通信ができる。（第1編総記、第8章海難防止、港務通信の項参照）。

識別信号	呼出応答	通信	運用時間	連絡先	連絡の方法
ひろしまほあん	ch16	ch12	常時	松山海上保安部	「ひろしまほあん」を呼び出し、松山海上保安部への接続を依頼する。

錨地 興居島東側の沖ノ藻と北方陸岸との中間（由良湾）は避泊地に良いが、北東部の海底線に注意を要する。危険物積載船の錨地は第2区に指定されている。

航行上の注意 松山港南方至近の松山空港滑走路の前面には、航空法に基づく航空機進入表面区域が設定されている。

港湾施設

第1区

名称	概位	長さ (m)	水深 (約m)	係船能力 (D/W×隻)	備考
観光港第1フェリー岸壁	33° 53.4' N 132° 42.3' E	160	5.5~6	3,000×1	
観光港第2フェリー岸壁		238	7.5	10,000×1	前面に険悪地がある。
観光港第1桟橋	33° 53.3' N 132° 42.2' E	205	5~14.5	3,000×2	
観光港第2桟橋		207	5~8	3,000×2	

第2区

外港第1ふ頭1号岸壁	33° 51.5' N 132° 42.5' E	220	4.5~5	3,000×2	前面に険悪地がある。
外港第1ふ頭2号岸壁		370	10	10,000×2	前面に険悪地がある。
外港第1ふ頭3号岸壁		315	3.5~4	700×6	前面に険悪地がある。
外港第2ふ頭1号岸壁	33° 51.8' N 132° 42.5' E	300	3.5	700×5	
外港第2ふ頭2号岸壁		180	5~5.5	2,000×2	前面に険悪地がある。
外港第2ふ頭3号岸壁		390	6.5~7	5,000×3	前面に険悪地がある。
大可賀ふ頭1号岸壁	33° 51.3' N 132° 42.5' E	180	1~3	700×2	前面に険悪地がある。
大可賀ふ頭2号岸壁		200	1.5~3	700×3	前面に険悪地がある。
大可賀ふ頭3号岸壁		90	4~4.5	2,000×1	前面に険悪地がある。
吉田浜1号岸壁	33° 50.4' N 132° 41.8' E	270	4~5	2,000×3	前面に険悪地がある。
吉田浜2号岸壁		180	4~4.5	2,000×2	
外港新ふ頭1号岸壁	33° 50.8' N 132° 41.9' E	170	10~10.5	10,000×1	前面に険悪地がある。 コンテナクレーン
外港新ふ頭2号岸壁	33° 50.8' N 132° 41.8' E	260	13	40,000×1	コンテナクレーン
外港新ふ頭3号岸壁	33° 51.1' N 132° 41.9' E	260	7~7.5	5,000×2	コンテナクレーン
外港新ふ頭4号危険物岸壁		130	7.5	5,000×1	

西垣生泊地

垣生3号岸壁	33° 48.9' N 132° 41.6' E	272	3~4.5	2,000×3	前面に険悪地がある。
垣生4号岸壁	33° 48.8' N 132° 41.2' E	370	9~9.5	10,000×2	前面に険悪地がある。

※上表のほか、会社専用の係船施設がある。

注意 高浜瀬戸南口付近は、入出港船や高浜瀬戸通航船が多く、行会、横切り関係となることが多い。

最大入港船舶 ~~2019年6月3日、旅客船「Diamond Princess」(115,875t、喫水8.05m)が外港第1ふ頭2号岸壁に着岸した。2023年5月27日、客船MSC BELLISSIMA (171,598t、喫水8.7m)~~ が外港第1ふ頭2号岸壁に着岸した。

台風・津波対策 台風・津波等による海難事故を防止するため、松山港自然災害防止対策委員会が設置されており、在港船舶等に対し、情報の伝達及び警戒体制・避難・入港制限の勧告・解除等の災害防止措置を指導している。(問合せ先:松山海上保安部)

海事関係官公署

名 称	電 話 番 号
松山海上保安部（港長）	089-951-0553
高松出入国在留管理局松山出張所	089-932-0895
神戸税關松山税關支署	089-951-0301
広島検疫所松山出張所	089-951-0068
神戸植物防疫所坂出支所松山出張所	089-951-2418
四国運輸局愛媛運輸支局	089-956-9951
松山市都市整備部空港港湾課松山港務所	089-951-2148

引船 引船がある。

通船 通船が数隻あり、三津浜桟橋から不定期に発着する。

補給 給水船、給油船がある。

修理 大型船用のほかに小型船(350tまで)用の造船所がある。

名 称	電 話 番 号
(有)角田造船所	089-952-1551
(株)大内造船所	089-997-1211

廃油処理施設

事 業 者 名	申 込 先	利 用 可 能 時 間	処理する廃油の種類	
			廃 重 質 油	廃 軽 質 油
コスモ松山石油 (株)	製品課 089-951-1111	0830~1700	ビルジ・水バラスト・ タンク洗浄水	水バラスト・タンク洗 浄水

医療施設

名 称	電 話 番 号
愛媛県立中央病院	089-947-1111

海上交通 呉港、広島港、柳井港及び付近島々との間に旅客船便またはカーフェリー便がある。

付近には、多数の養殖施設が設置されているので注意を要する。

架橋 港口付近に**戎ヶ《エビスガ》鼻**から対岸の九《ク》島東岸に至る九島大橋（高さ 15m）がある。

港湾施設

名 称	概 位	長さ (m)	水深 (約m)	係船能力 (D/W×隻)	備 考
大浦岸壁	33° 14.0' N 132° 33.1' E	-	5~5.5	-	前面に険悪地がある。
樺崎 1号岸壁	33° 13.7' N 132° 33.1' E	145	6	3,000×1	
樺崎 2号岸壁		140	4~4.5	700×2	
築地浮桟橋	33° 13.4' N 132° 33.2' E	57×2	-	700×2	
坂下津 1号岸壁	33° 13.3' N 132° 33.0' E	60	2.5~3	700×1	
坂下津 2号岸壁		130	5~8	5,000×1	前面に険悪地がある。
坂下津 3号岸壁		90	4~5	2,000×1	前面に険悪地がある。
坂下津 4号岸壁		270	2.5~4.5	2,000×3	
坂下津 5号岸壁		255	2.5~3.5	700×4	前面に険悪地がある。
築地桟橋	33° 13.4' N 132° 33.2' E	80	未測	450 t 級	

海事関係官公署

名 称	電 話 番 号
宇和島海上保安部	0895-22-1933
神戸税關松山税關支署宇和島出張所	0895-22-1254
四国運輸局宇和島海事事務所	0895-22-0260

補給 主な公共用係船岸壁で給水できる。給油船がある。

修理 500 t 以下の修理ができる造船所がある。

名 称	電 話 番 号
(有)赤松造船所	0895-22-0781
松田造船(有)	0895-22-2383

医療施設

名 称	電 話 番 号
宇和島市立宇和島病院	0895-25-1111

海上交通 戸島、日振島などとの間に旅客船便がある。

吉 田 港 (33° 15.9' N 132° 32.4' E) (海図W138) (JP YSD)

港種 港則法適用港

概要 宇和島湾の北東奥にあり、西～南寄りの風が強吹するとうねりが入り込むので、避難には適さなくなる。その他の風に対しては良い避難港となる。

目標

地 物 名	概 位	備 考
遠 見 山	33° 16.3' N 132° 33.2' E	高さ 322m

ある。

目標

地物名	概位	備考
女子《メッコ》鼻	33° 27.1' N 132° 19.0' E	灯台がある。南方からは島のように見える。
黒島	33° 27.4' N 132° 21.0' E	高さ 121m、遠望顯著
鳥《カラ》島	33° 27.4' N 132° 21.7' E	高さ 37m
佐島	33° 26.4' N 132° 21.7' E	東西に細長い島であり、西頂に灯台がある。
諫訪埼	33° 26.5' N 132° 23.0' E	埼端に樹木の茂る岩頂があり、頂に白塗塔がある。その沖に灯標がある。
権現山	33° 28.2' N 132° 24.7' E	高さ 364mで遠望顯著

港湾施設

名称	概位	長さ(m)	水深(約m)	係船能力(D/W×隻)	備考
出島桟橋	33° 27.5' N 132° 24.9' E	152	-	4,000t×1	カーフェリー用
		158	-	4,000t×1	カーフェリー用
沖新田2号岸壁	33° 27.6' N 132° 25.0' E	90	-	2,000×1	出島ふ頭北東側
沖新田4号岸壁	33° 27.5' N 132° 25.0' E	96	5~5.5	2,000×1	出島ふ頭南側
沖新田物揚場	33° 27.5' N 132° 25.0' E	70	-	300t×1	出島ふ頭北東側
沖新田第1桟橋	33° 27.4' N 132° 25.0' E	230	4.5~5.5	2,000t×2	
栗野浦岸壁	33° 27.2' N 132° 25.0' E	130	7~7.5	5,000×1	岸壁西側
栗野浦1号係船岸壁		90	7	2,000×1	岸壁北側
栗野浦2号係船岸壁		70	4~4.5	1,000×1	岸壁南側

最大入港船舶 1997年4月10日、サルベージ船「長門」(6,126t、喫水6.0m)が入港した。

引船 引船がある。

補給 給油船がある。

修理

名称	電話番号
(株)栗之浦ドック	0894-22-5100

医療施設

名称	電話番号
八幡浜市立八幡浜総合病院	0894-22-3211

海上交通 級杵港、別府港との間にカーフェリー便、大島との間に旅客船便がある。

川之石《カワノイシ》港 (33° 28.3' N 132° 23.3' E) (海図W156) (JP KWI)

港種 港則法適用港

概要 八幡浜港の北西隣にある港で、西寄りの風のときのほかは良い錨地となる。港内には養殖施設がある。